

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	21.岐阜県
市町村名	21217飛騨市

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施市町村名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
21217飛騨市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	・各学校勤務の職員には地域外の方も多く、地域に関する情報が少なく十分に課外活動を行うことが難しい場合がある。 ・コロナ禍の期間を経て、学校と地域人の繋がりが希薄になり、地域人材との関わりがなくなってしまう十分な課外活動の実施を行えていない学校区が約半数存在している。	・市内7校区のうち、一部では学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進が図られ、充分な課外活動の推進が図られている地域もあるが、全体的には図られていない地域も複数あるため行政としての支援が引き続き必要な状態である。	・全校区において、学校運営協議会委員を兼ねる地域学校協働活動推進員を少なくとも1名ずつ配置する。 ・地域の様々な分野のスペシャリストに精通した方を地域学校協働活動に登用し、配置する。 ・初めて推進員に委嘱される方もある想定で、改めて地域学校協働活動推進員の活動についての勉強会や本部連絡会を行う。 ・各校区を超えて情報の共有なども行いながら、より質の高い課外活動の推進を行う。	・学校運営協議会で出された課題を基に、地域学校協働本部への共有を行うことで、地域学校協働活動推進員の積極的な活動推進につなげる。 ・地域学校協働活動推進員が自ら企画し課外活動を推進していくことで、教員は学校での授業準備に専念できるため負担軽減につながり、ひいては教員の超過勤務時間の縮減に寄与する。	・推進員自ら、または推進員が地域人材を登用し、放課後や休日に行った課外活動の実施件数	8	件	10	6	02 本年度の目標値をやり、取組の工夫改善が求められる ・今年度は、市制20周年で各所でイベント等が行われ集客が分散することや各推進員が他の活動で多忙であったことからこの分野における課外活動の実施数は伸びなかった ・多くの子どもたちが参加できるよう、放課後や休日などのまとまった時間だけでなく、朝の時間や昼休みの時間など隙間時間に様々な体験の機会を提供できるように検討していく必要がある	https://www.city.hida.gifu.jp/site/syogaigakusyu/60296.html